

将来像 6 : ゼロベースの自治体のデザイン

交流・関係人口を通じた地域活性化、町民本位の行政デザインを目指して、地方自治体のあり方をゼロからデザインします。また、交流・関係人口との共創も含め、町民本位・ステークホルダー本位の自治体運営や多種多様な人々による自治をゼロから構築できるか、多方面にわたる議論と実証実験を進めます。

磐梯町は、交流・関係人口の拡充及び地域活性化に取り組んできましたが、行政のあり方が交流・関係人口の方々にとって利用しやすい状況であることは、結果的に町民の皆さんの利便性の向上と地域の活性化に繋がります。

また、総務省が主催する自治体戦略 2040 構想研究会の報告書においても、「人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか」という視点からデジタル技術も活用した行政のあり方の抜本的見直しについても検討されています。

そこで、これからの自治体及び自治のあり方を考えるうえで、既存の行政システムとは異なる、交流・関係人口との共創による、町民本位・ステークホルダー本位の自治体の将来像をゼロベースでデザインし、構築できるか検討します。



6. 将来像6

ゼロベースの自治体のデザイン

①戦略 16：ゼロベースの自治体のデザイン

交流・関係人口を通じた地域活性化、町民本位の行政デザインを目指して、地方自治体のあり方をゼロからデザインします。また、交流・関係人口との共創も含め、町民本位・ステークホルダー本位の自治体運営や多種多様な人々による自治をゼロから構築できるか、多方面にわたる議論と実証実験を進めます。

具体的な戦術

- ・「ゼロベースの自治体」のグランドデザインを描き、実証実験を始めます。
- ・令和4年4月から実証実験をスタートできるように、令和3年度は下記に取り組めます。
 - ①町民、議会への丁寧な説明
 - ②検討会の開催に向け、幅広く町民、交流・関係人口、有識者に参加を求める
 - ③これからの時代の自治について議論する検討会の開催
 - ④実証実験を行うための体制整備

